

2. とりまとめ基準

(1) 種の目名、科名、和名、学名とその配列

選定種（亜種）の目名、科名、和名、学名とその配列については、分類群毎に基本的に次のような文献に従った。なお、学名に命名者や記載年は付記しないこととした。

① 植物

米倉浩司著・邑田 仁監修. 2012. 日本維管束植物目録. 北隆館、379pp.

米倉浩司著・邑田 仁監修. 2013. 維管束植物目録. 北隆館、212pp.

② 哺乳類

日本哺乳類学会分類群名・標本検討委員会編. 2018. 世界哺乳類標準和名目録. 哺乳類科学、第 58 巻別冊、53pp.

③ 鳥類

日本鳥学会編. 2012. 日本鳥類目録 改訂第 7 版. 日本鳥学会.

④ 両生類・爬虫類

日本爬虫両棲類学会標準和名委員会. 2019. PDF 版日本産爬虫両棲類標準和名リスト（2019 年 1 月 25 日版）. 日本爬虫両棲類学会.

⑤ 汽水・淡水魚類

中坊徹次編. 2013. 日本産魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会、東京.

⑥ 昆虫類

調査対象種全種を網羅した最新の文献がなかったので、分類群によって以下の文献を参考にした。

日本昆虫目録編集委員会編. 2017. 日本昆虫目録 第 2 巻 旧翅類. 日本昆虫学会.

日本昆虫目録編集委員会編. 2016. 日本昆虫目録 第 4 巻 準新翅目. 日本昆虫学会.

日本昆虫目録編集委員会編. 2016. 日本昆虫目録 第 5 巻 脈翅目群長翅目毛翅目隱翅目撚翅目. 日本昆虫学会.

日本昆虫目録編集委員会編. 2013. 日本昆虫目録 第 7 巻 鱗翅目（第 1 号セセリチョウ上科-アゲハチョウ上科）. 日本昆虫学会.

白水 隆. 2006. 日本産蝶類標準図鑑. 学習研究社.

町田龍一郎監修・日本直翅類学会編. 2016. 日本直翅類標準図鑑. 学習研究社.

岸田泰則編. 2011. 日本産蛾類標準図鑑Ⅰ. 学研教育出版.

岸田泰則編. 2011. 日本産蛾類標準図鑑Ⅱ. 学研教育出版.

広瀬俊哉・那須義次・坂巻祥孝・岸田泰則編. 2013. 日本産蛾類標準図鑑Ⅲ. 学研教育出版.

那須義次・広瀬俊哉・岸田泰則編. 2013. 日本産蛾類標準図鑑Ⅳ. 学研教育出版.

多田内修・村尾竜起編. 2014. 日本産ハナバチ図鑑. 文一総合出版.

- 寺山守・須田博久編著. 2016. 日本産有剣ハチ類図鑑. 東海大学出版会.
- 上野俊一・黒澤良彦・佐藤正孝編著. 1985. 原色日本甲虫図鑑Ⅱ. 保育社.
- 黒澤良彦・久松定成・佐々治博之編著. 1985. 原色日本甲虫図鑑Ⅲ. 保育社.
- 林匡夫・森本桂・木元新作編著. 1984. 原色日本甲虫図鑑Ⅳ. 保育社.
- 森正人・北山昭. 2002. 改訂版図説日本のゲンゴロウ. 文一総合出版.
- 大林延夫・新里達也編. 2007. 日本産カミキリムシ. 東海大出版会.
- 川井信矢・堀繁久・河原正和・稲垣政志. 2005. 日本産コガネムシ上科図説 第1巻 食糞群. 昆虫文献六本脚.
- 酒井香・藤岡昌介. 2007. 日本産コガネムシ上科図説 第2巻 食葉群Ⅰ. 昆虫文献六本脚.
- 小林裕和・松本武. 2011. 日本産コガネムシ上科図説 第3巻 食葉群Ⅱ. 昆虫文献六本脚.
- 秋田勝己・益本仁雄. 2016. 日本産ゴミムシダマシ大図鑑. むし社.
- 平嶋義宏監修・九州大学農学部昆虫学研究室・日本野生生物研究センター編. 1989. 日本産昆虫総目録. 九州大学農学部昆虫学研究室.
- 平嶋義宏監修・九州大学農学部昆虫学研究室・日本野生生物研究センター編. 1990. 日本産昆虫総目録. 追加・訂正. 九州大学農学部昆虫学研究室.

⑦ 甲殻類

調査対象種全種を網羅した最新の文献がなかったので、前回版レッドデータブックに準じた。

⑧ 貝類

- 環境省編. 2014. レッドデータブック 2014－日本の絶滅のおそれのある野生生物－6 貝類. ぎょうせい.
- 西 邦雄・西 浩孝. 2018. 宮崎県のカタツムリ. 黒潮文庫、宮崎.
- 飯島國昭. 2018. 長野県陸産・淡水産貝類誌. 飯田市美術博物館.

(2) 文献の採用基準

香川県における野生生物の生育・生息に係る既存文献の採用にあたっては、2004年版の香川県レッドデータブックの作成時において採用されたときと同様とし、下記のような基準を採用した。

- | | |
|----------|---------------------------|
| ①植物 | 「香川県植物誌」以降の文献を採用する。 |
| ②哺乳類 | 明治以降の文献を採用する。 |
| ③鳥類 | 特に設定しない。 |
| ④両生類・爬虫類 | 特に設定しない。 |
| ⑤汽水・淡水魚類 | 1960年以降の文献を採用する。 |
| ⑥昆虫類 | 環境アセスメント関連の報告書は基本的に採用しない。 |
| ⑦甲殻類 | 文献が少ないため、記載のあるものはすべて検討する。 |
| ⑧貝類 | 特に設定しない。 |